お客さま本位の業務運営に関する取組方針

お客さま本位の業務運営に関する方針

エー・アイ・キャピタル株式会社（以下「当社」）は、プライベート・エクイティ産業の更なる発展のために、国内外の投資家とファンド・マネージャーの皆さまをつなぐ懸け橋となります。私たちは、お 客さまにより一層価値のあるサービスを提供し、お客さまとともに発展し、お客さまから安心して資産運用をお任せいただけるプライベート・エクイティ・ファンド投資の運用・助言会社を目指すため、次のとおり「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」を策定し、この方針に対する取組状況を定期的に公表するとともに、よりよい業務運営を実現するために、定期的な見直しを行ってまいります。

お客さまの最善の利益の追求

当社は、お客さまのニーズを汲み取り、質の高いサービスを提供し、お客さまの成功を私達の喜びと誇りといたします。

利益相反の適切な管理

「お客さま本位」の考えに立ち、誠実・公正に業務を遂行するため、利益相反のおそれがある場合には、これを適切に管理することにより、お客さま本位の業務運営に努めてまいります。

手数料等の明確化

手数料等は、お客さまに提供する商品・サービスの内容に応じた合理性のある水準でいただいており、お客さまにご負担いただく手数料等について、名目を問わず、できる限り詳しくかつ分かりやすくお伝えできるよう努めてまいります。

重要な情報の分かりやすい提供

商品・サービスの提供にあたっては、商品・サービスの基本的な利益、損失その他のリスク、取引条件、商品・サービスの選定理由、利益相反の可能性等の、お客さまのご判断にとって必要かつ重要な情報を提供いたします。また、当社からの情報提供にあたっては、お客さまのお取引経験や金融知識、財産の状況、商品・サービスの複雑さやリスクの程度等を総合的に勘案のうえ、お客さまの理解度等を確認させていただきながら、誤解を招くことのない誠実な情報提供を行うよう努めてまいります。

お客さまにふさわしいサービスの提供

当社は、お客さまの取引目的・ニーズ、資産の状況等を十分に把握し、お客さまの知識や経験に照らして適当と考えられる商品・サービスの提案を行います。また、お客さまに安心して取引を継続していただくために、お預かりしている資産について適時・適切な報告を行うとともに、関連する情報提供を継続的に行います。

金融商品の販売にあたっては、当社は商品の複雑さやリスク等の特性に応じて、お客さまの最善の利益を実現するため、商品を実際に購入したお客さまの属性に関する情報や商品に係るお客さまの反応や販売状況に関する情報を社内で連携します。

当社は、プライベート・エクイティ産業を取り巻くグローバルな市場環境や最新の動向・情報を的確に捉え、お客さまのニーズに適った商品・サービスの提供に活かすように努めてまいります。

役職員に対する適切な動機づけの枠組み等

当社は、役職員に「お客さま本位」の行動を浸透させるとともに、職業倫理の向上、取扱商品・サービスの仕組み等に係る理解を深められるよう社内教育・研修などを充実させ、お客さま本位の行動を促進するための態勢整備に努めてまいります。

プロダクトガバナンスに関する方針

基本理念

お客さまによりよい金融商品やサービスを提供するため、経営のリーダーシップの下、お客さまの資産形成等に係る真のニーズを踏まえた最適な商品・サービスの開発 ・提供・管理を行うとともに、わかりやすい情報の提供・開示に努めます。また、これらの実効性を継続的に確保するための取組みに努めてまいります。

体制整備

当社は基本理念を踏まえ、商品の組成から償還に至るまでの金融商品のライフサイクル全体のプロダクトガバナンスについて実効性を確保するために体制を整備いたします。
金融商品組成時の検証、組成後のモニタリングは管理部門を含めたエグゼクティブ・コミッティ―が関与いたします。

金融商品の組成時の対応

金融商品組成時においては、お客さまの真のニーズを想定した上で、金融商品の持続可能性や金融商品としての合理性等を、ビジネス・ディベロップメント会議で検討し、エグゼクティブ・コミッティ―で検証いたします。また、金融商品の複雑さやリスク等の特性等に応じて、お客さまの最善の利益を実現する観点から、販売対象として適切な想定顧客属性を特定し、金融商品の販売に携わる社員及び金融事業者が商品を十分に理解し、お客様にご理解頂けるような説明のできる情報提供を行います。

金融商品の組成後の対応

当社は、組成後の金融商品に関して、定期的に品質の検証を実施いたします。四半期毎にインベストメント部門が行うモニタリング会議で想定していた商品性が確保されているかを確認し、結果はリスク管理委員会及びエグゼクティブ・コミッティ―に報告されます。運用が想定通り行われていない商品は、運用の改善を求め、運用の改善が困難あるいは運用改善以外の措置が必要と判断される金融商品については、適切な措置を講じます。併せて、その実行状況をモニタリングし、モニタリング会議、リスク管理委員会及びエグゼクティブ・コミッティ―において報告を行います。

お客さまに対する分かりやすい情報の提供

当社は、お客さまがより良い金融商品を選択できるよう、当社の運用体制やプロダクトガバナンス体制等についてそれぞれのお客さまに適した説明を行ってまいります。

以上

2025.3

「お客さま本位の業務運営に関する取り組み方針」に基づく取組状況について
https://www.aicapital.co.jp/dcms_media/other/Customer-oriented_business_operations.pdf